

活動報告

- 活動日時：2023年9月24日(日) 9:30~15:30
- プログラム名：カブトムシの森 クヌギの伐倒と草刈り
- 目的：クヌギの萌芽更新
- 活動場所：カブトムシの森A地区、B地区、C地区
- 参加者：13名
- 活動概要：1班：直径25cmと34cmのクヌギ伐採、2班：直径27cmと32cmのクヌギの伐採、草刈班：A~C地区遊歩道沿いの草刈り

■活動内容：

気温も真夏日ほどなく、風もあり快適な作業日よりでした。A地区カブ森のクヌギは後20本残っています。この皆伐に向け、本日は伐倒班を各4人で2班づくり、合計4本のクヌギの伐倒を目標に取り組みました。

今回、伐倒作業の効率化の試行として、各班で伐倒方向を決めた後、2人ずつに分かれて、経験の少ない会員に、チョークでの受口、追いつき切りのライン引きを行っていただきました。その後、皆で1本目のクヌギを伐倒した後、枝処理を行わず、2本目のロープ掛けを1本目のロープを使って行いました。ここでまで午前中の作業を終了しました。

午後は、草刈り班も伐倒班に入っただいて、2本目の伐倒、その後、皆で枝処理を行いました。幹部分はチェーンソーで伐採し、なんとか時間内に枝処理を終えました。作業の効率化については、概ね効果はあると思いますが、1本目のロープを2本目に使うときにロープが木に絡まるなどして、その処理に時間がかかりました。本日も直径30cm前後と大きなクヌギでしたが、想定の方角に最終的に、クサビを打ち、作業者がコントロールして、安全に伐倒することが出来ました。

一方、草刈班は、A地区の東側から西側へつながる遊歩道が工事の関係もあり、ほとんど人が通っておらず、草が繁茂し道もわからないような状況でしたが、鎌や刈込ばさみを使い、何とか、通れるようにできました。

クヌギの皆伐が順調に進んでいるのは良いですが、クヌギが30年を超え、大きくなりすぎており、薪としての搬出が難しく、シイタケのホダ木としても、大きすぎるという課題もあります。





〈今回の活動メンバーです。〉